

ロールプレイ教材の開発（1年次）

「ペナン島とグローバルゼーション～進むべき未来を考える」(6月に各クラスにて実施)。マレーシアのペナン島の未来について、工業化、リゾート開発、ジョージタウンの世界遺産認定、伝統的な漁村等の側面から考えた。グループが6つの立場(①大資本、②飲食チェーン店、③ペナン・ヘリテージ・トラスト [NGO]、④零細漁民、⑤地域住民⑥政策委員会)になりきり、利害関係について議論を行うものである。社会問題について多角的に考え、それぞれの立場から相手に分かりやすく伝えることを目的とした。事前ガイダンスの際には、教員によるデモンストレーションも行った。



教員デモンストレーション

教室でのロールプレイの様子

国内フィールドワーク（1年次）

生徒全員が参加する国内フィールドワークは、多文化共生、観光、教育、環境の各テーマに基づく8コースを設定している（9月に実施）。国内フィールドワークの事前に研究グループの編成を行い、事後のミニポスターによる報告を経て、10月より本格的な研究活動が始動する。

	目的・方面
①	行政機関とインターナショナルスクール（新宿・幕張）
②	NPOと大使館施設を訪問する（四ッ谷・千葉）
③	在日ムスリムコミュニティを訪問する（代々木上原・柏）
④	観光客に街頭インタビュー（浅草）
⑤	農園リゾートで観光の新形態を探る（香取）
⑥	地域活性化の方法、環境と観光の両立を探る（鴨川）
⑦	足尾銅山で公害の歴史や環境NPOの活動を学ぶ（足尾）
⑧	東京湾で生物多様性・環境問題を考える（船橋・青海）



マレーシア海外フィールドワーク（2年次）

○滞在地 クアラルンプール, ペナン州

○主な訪問先（9泊10日）

クアラランプール および近郊	地方部公立学校 (SMK Sungai Pelek) ブルーモスク
	都市部私立学校 (Seri Cahaya School) 商業施設 (AEON Mall Shah Alam)
	市内フィールドワーク (B&S プログラム)
ペナン	自然環境漁業調査 (鳥類保護区) 民泊体験 (スンガイ・アチェ村)
	沿岸漁民福利協会(PIFWA) 植林センター
	観光開発調査 (ペナン・ジョージタウン市内フィールドワーク)
	観光地調査 (ガーニープラザ) 漁村調査 (スンガイ・バトゥ村)



開発公社にて



ペナン消費者協会にインタビュー

校内発表会（主なもの）

①中間発表会 [1 年次 2 月], ②ポスターセッション [2 年次 9 月], ③校内発表会 [2 年次 12 月], ④SGH 研究発表大会 [1 月] (代表グループのみ)。

生徒の自己評価

2 年次最終論文の提出後に、2 年間の課題研究の成果について、ループリック自己評価票により 4 段階で評価をさせた。集計結果は次の通りである（4 が高評価）。

資質・能力	観点	4	3	2	1	4 & 3	2 & 1	平均値
課題発見能力	深い問題意識	18%	57%	23%	2%	75%	25%	2.92
	明確な課題設定	21%	50%	28%	2%	70%	30%	2.89
論理的思考力	十分な調査	8%	42%	48%	2%	50%	50%	2.56
	多角的な分析・統合	10%	59%	30%	2%	69%	31%	2.77
コラボレーション能力	互いを高め合う協働	25%	48%	22%	4%	73%	27%	2.94
コミュニケーション能力	伝わりやすい発表	15%	57%	27%	1%	72%	28%	2.86
	議論を深める質疑応答	7%	43%	42%	8%	50%	50%	2.49
企画力 (問題解決)	有効な提案	8%	57%	33%	2%	64%	36%	2.70
異文化受容性	共生への視点	17%	66%	15%	2%	83%	17%	2.98

また、下図は、集計結果から各項目間の相関係数を求め、値の高いものを図示したものである。

